

みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 2020年4月～6月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

2020年4～6月期の業況/2020年7～9月期の業況予想

今回の調査実施時期

2020年6月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	60先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	22先	不動産業	17先

調査方法

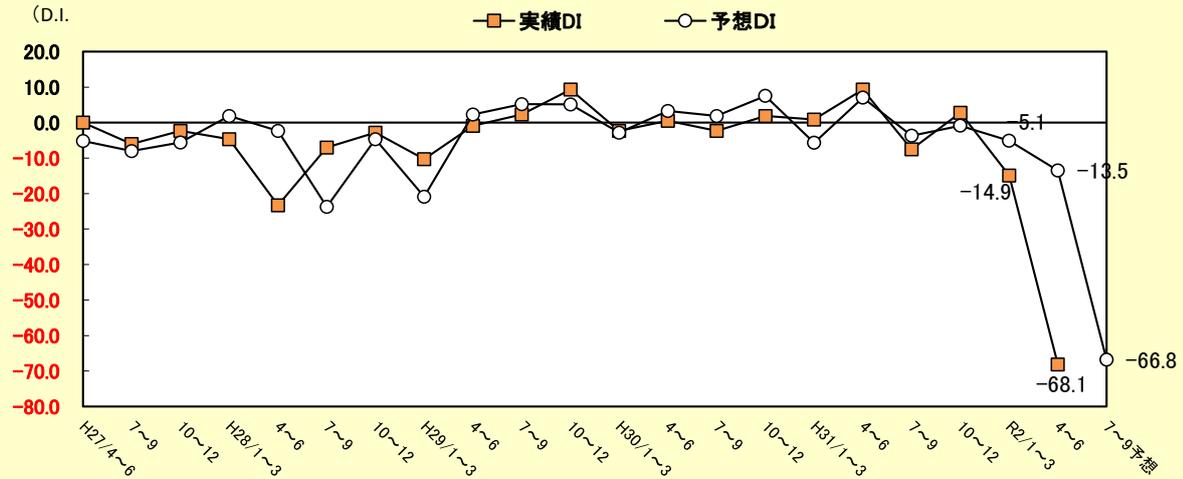
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



	4~6月期実績				7~9月期予想			
	総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総合	▲68.1	▲73.0	▲66.7	▲60.0	▲66.8	▲73.3	▲60.7	▲65.0
製造業	▲80.0	▲86.6	▲80.0	▲70.0	▲77.4	▲75.0	▲80.0	▲80.0
小売業	▲73.3	▲80.7	▲73.0	▲50.0	▲70.0	▲80.7	▲65.3	▲50.0
卸売業	▲75.0	▲75.0	▲90.0	▲50.0	▲75.0	▲62.5	▲90.0	▲66.6
サービス業	▲76.6	▲85.7	▲64.2	▲100.0	▲73.3	▲92.8	▲50.0	▲100.0
建設業	▲22.7	20.0	▲22.2	▲50.0	▲31.8	0.0	▲22.2	▲62.5
不動産業	▲47.0	▲28.5	▲66.6	▲50.0	▲47.0	▲28.5	▲83.3	▲25.0

4月～6月の県内経済概況

2020年4月～6月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは▲68.1となり、前期比53.1ポイント下降となっています。

業種別の状況を見ると、製造業は▲80.0となり、前期比63.9ポイント下降、小売業は▲73.3となり、前期比55.0ポイント下降、卸売業は▲75.0となり、前期比43.0ポイント下降、サービス業は▲76.6となり、前期比56.6ポイント下降、建設業は▲22.7となり、前期比40.8ポイント下降、不動産業は▲47.0となり、前期比47.0ポイント下降となっています。

地域別では、別府地区が▲73.0となり、前期比44.5ポイント下降、大分地区が▲66.7となり、前期比63.1ポイント下降、県北地区が▲60.0となり、前期比52.5ポイント下降となっています。

業種別景況

製造業

● 当期(4月～6月)の景況

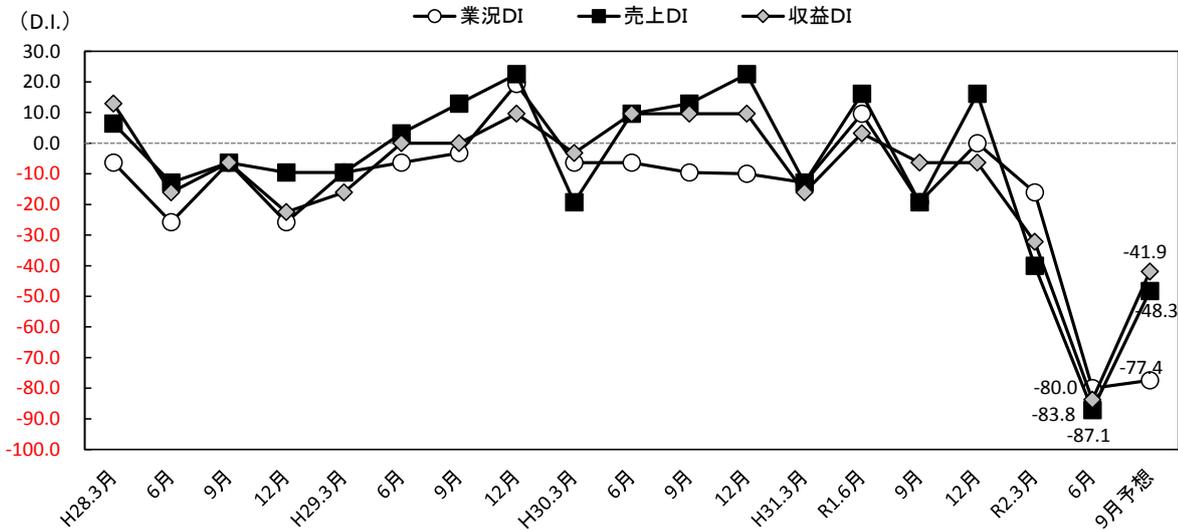
全域における業況DIは▲80.0となり、前期比63.9ポイント下降、前年同期比89.6ポイント下降となっています。売上DIは▲87.0となり、前期比47.0ポイント下降、前年同期比103.1ポイント下降となっています。収益DIは▲83.8となり、前期比51.6ポイント下降、前年同期比87.0ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲86.6となり、前期比61.6ポイント下降、前年同期比86.6ポイント下降、大分地区が▲80.0となり、前期比60.0ポイント下降、前年同期比100.0ポイント下降、県北地区が▲70.0となり、前期比70.0ポイント下降、前年同期比90.0ポイント下降となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは▲77.4となり、今期比2.6ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲48.3となり、今期比38.7ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲41.9となり、今期比41.9ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲75.0、大分地区が▲80.0、県北地区が▲80.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	31.8%
同業者間の競争激化	18.1%
地場産業衰退	10.6%
工場・機械の狭小・老朽化	6.0%
原材料高	4.5%

最重要経営施策

販路拡大	26.1%
経費節減	24.6%
新製品・技術開発	13.8%
情報力強化	9.2%
提携先探す	6.1%

経営者のみなさまの主なコメント

- コロナウイルスの影響が大きい(自動車部品)
- つげ製品を取り扱っており、インバウンドをはじめ観光客による売上げが約4割のウエイトを占めていたが、今回新型コロナウイルスの影響により売上が半減した(つげ製品)
- 新型コロナウイルスの影響は若干受けている。現預金もあり、新型コロナ対応の支援制度は現時点では利用しない(竹製品)
- 新型コロナウイルスの影響で受注が減少し、売上も大幅に減少したが、営業努力により新型コロナウイルス対策資金は利用していない。今後の経営状況を考え借入れを行う(漬物)
- 今後(6月以降)の受注の減少がどの程度になるか不安である。昨年度のように国内需要が戻ればよいが、まったくわからないので不安である(家具建具)
- 取引先の旅館等が休業しているため、国内旅行などが始まらないと売上がなかなか上がらない(竹製品)

小 売 業

● 当期(4月～6月)の景況

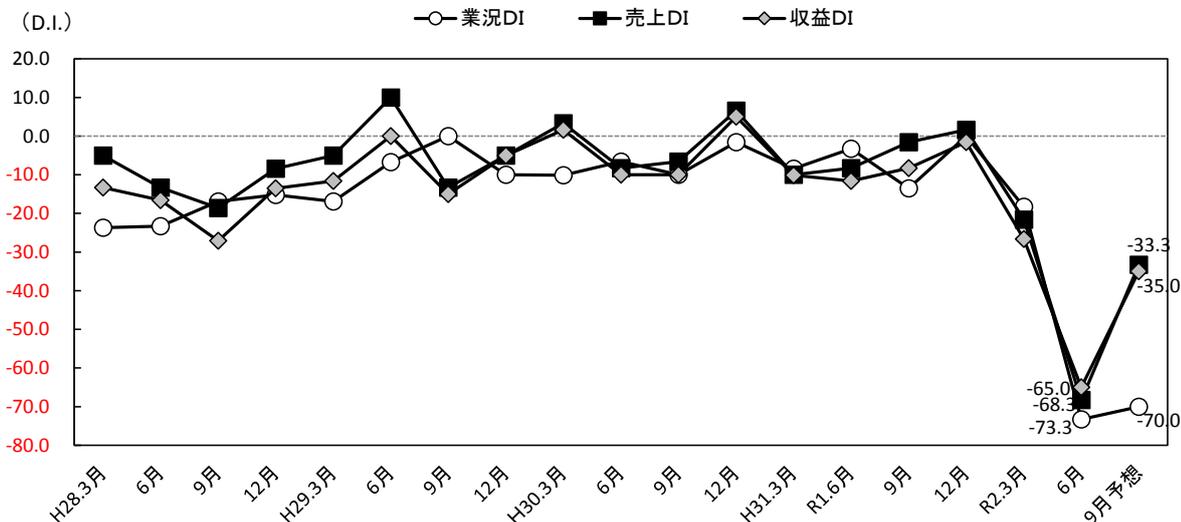
全域における業況DIは▲73.3となり、前期比55.0ポイント下降、前年同期比70.0ポイント下降となっています。売上DIは▲68.3となり、前期比46.7ポイント下降、前年同期比60.0ポイント下降となっています。収益DIは▲65.0となり、前期比38.4ポイント下降、前年同期比53.4ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲80.7となり、前期比50.0ポイント下降、前年同期比80.7ポイント下降、大分地区が▲73.0となり、前期比69.2ポイント下降、前年同期比61.5ポイント下降、県北地区が▲50.0となり、前期比25.0ポイント下降、前年同期比62.5ポイント下降となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは▲70.0となり、今期比3.3ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲33.3となり、今期比35.0ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲35.0となり、今期比30.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲80.7、大分地区が▲65.3、県北地区が▲50.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	34.1%
大型店競争激化	13.0%
同業者間の競争激化	11.3%
利幅縮小	8.1%
人手不足	5.6%

最重要経営施策

経費節減	78.0%
品揃え改善	31.7%
宣伝・広告強化	31.7%
売筋商品取扱	29.2%
特になし	19.5%

経営者のみなさまの主なコメント

- 新型コロナウイルスの影響は、今後出てきそうである(茶葉)
- 新型コロナウイルスの影響は、現状出ておらず忙しい(家電製品)
- 一般個人向けの事業のためか、新型コロナウイルスの影響はほとんどない(飲食料品)
- コロナウイルスの影響によりイベントの中止や売上が減少しているものの、経費削減や営業時間中に予約していただいたお客様に貸し切りで利用してもらうなど他社との差別化を行い、収益の改善を試みている(家具)
- 電子書籍の普及により販売部数は減少傾向にある。駅前の高立地条件ではあるが、コロナウイルスの影響により客足が減少傾向である。(書籍販売)
- 新型コロナウイルスの影響により、旅館ホテルへの納品が減少している。(茶販売)
- コロナウイルスの影響により学校給食等が一時停止となったが、その間、病院への卸売りを稼働していたことと、宣言解除により学校給食も再開したことから資金繰りについては持ちこたえている状況である。(精肉類)
- 新型コロナウイルスの影響により取引先の納品の減少や観光客減少の影響を受けている。(酒類販売)
- 取引先が旅館ホテルが主であるためコロナウイルスの影響は大きい。人手は足りており持続化給付金も申請済み。コロナウイルスの収束が見えない限り厳しい状況は変わらない。(米)
- コロナウイルスの影響は今のところは受けていないが、今後、国内消費の落ち込みで影響はあるだろう(自動車整備)
- 取引先がスナック・居酒屋・バー等で、コロナウイルスの影響の影響を大きく受けている。不動産収入があるので、当面は安定した収入が入るが、収束がいつになるかわからないため資金繰りには注意を払う(米)

卸 売 業

● 当期(4月～6月)の景況

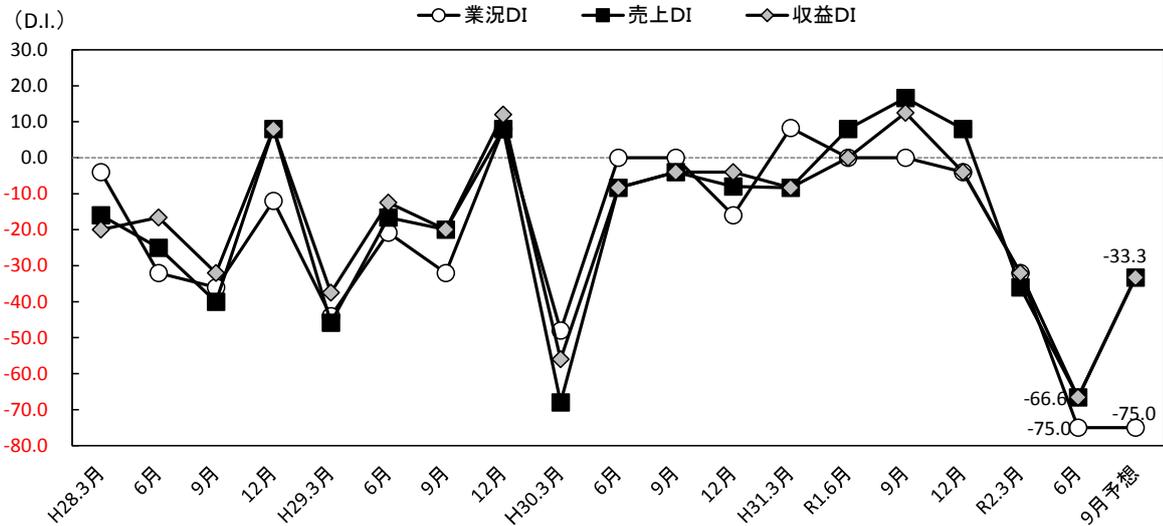
全域における業況DIは▲75.0となり、前期比43.0ポイント下降、前年同期比75.0ポイント下降なっています。売上DIは▲66.6となり、前期比30.6ポイント下降、前年同期比74.6ポイント下降なっています。収益DIは▲66.6となり、前期比34.6ポイント下降、前年同期比66.6ポイント下降なっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲75.0となり、前期比8.4ポイント下降、前年同期比75.0ポイント下降、大分地区が▲90.0となり、前期比80.0ポイント下降、前年同期比90.0ポイント下降、県北地区が▲50.0となり、前期比33.4ポイント下降、前年同期比50.0ポイント下降なっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは▲75.0となり、今期と同水準なっています。売上予想DIは▲33.3となり、今期比33.3ポイント上昇なっています。収益予想DIは▲33.3となり、今期比33.3ポイント上昇なっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲62.5、大分地区が▲90.0、県北地区が▲66.6なっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	30.6%
同業者間の競争激化	16.3%
利幅縮小	8.1%
人手不足	4.0%
取引先減少	4.0%

最重要経営施策

販路拡大	26.8%
経費節減	21.9%
情報力強化	12.1%
流通経路見直し	9.7%
新規事業着手	9.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- 新型コロナウイルスにより非常に影響を受けている。収束の見通しが立てば業況も改善される見通しである(ちりめん)
- 4月末まで直接的に売上高の影響はなかった。しかし、今後の動向は不透明であり売上高の減少もありうるかもしれない(竹製品卸売業)
- 3月・4月と売上高は対前期比で大きく減少した。極力借入れはしたくないが、今後申し込みを行う可能性はある(竹製品販売)
- 現在、ちりめんが取れておらず7月から漁が始まるため今は売上がない状態(ちりめん)
- コロナウイルスの影響により売上は減少傾向。今後資金繰りについて注意する必要あり(建築資材卸)
- 新型コロナウイルスにより取引先からの発注が減っている(青果物卸売)
- 4月に予定していた展覧会が中止になるなど、新型コロナウイルスの影響がかなり出ている(建築材料)

サービス業

● 当期(4月～6月)の景況

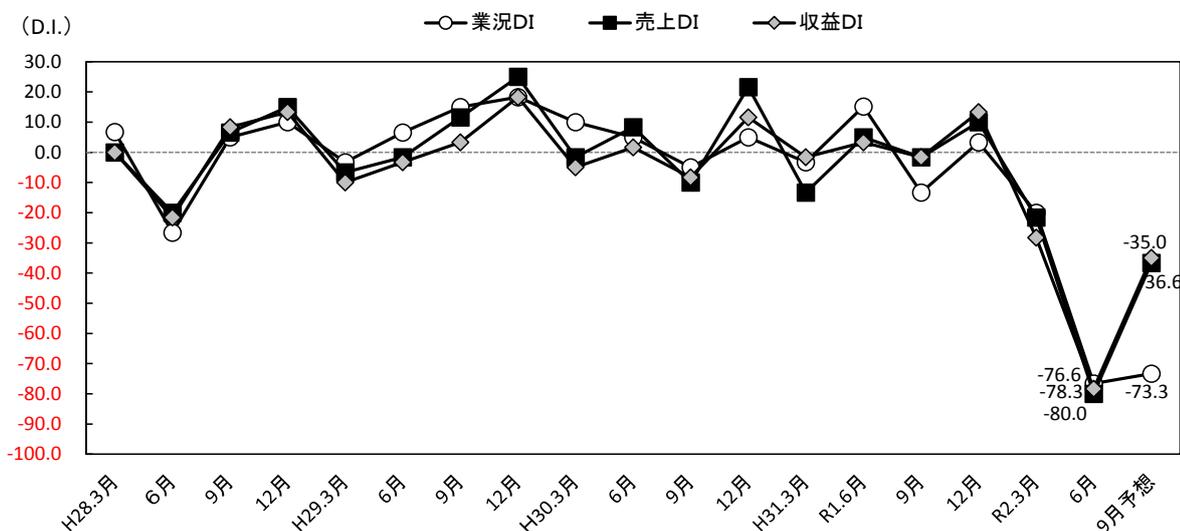
全域における業況DIは▲76.6となり、前期比56.6ポイント下降、前年同期比91.8ポイント下降となっています。売上DIは▲80.0となり、前期比58.4ポイント下降、前年同期比85.0ポイント下降となっています。収益DIは▲78.3となり、前期比50.0ポイント下降、前年同期比85.0ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲85.7となり、前期比46.5ポイント下降、前年同期比103.5ポイント下降、大分地区が▲64.2となり、前期比60.7ポイント下降、前年同期比78.4ポイント下降、県北地区が▲100.0となり、前期比100.0ポイント下降、前年同期比100.0ポイント下降となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは▲73.3となり、今期比3.3ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲36.6となり、今期比43.3ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲35.0となり、今期比43.3ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲92.8、大分地区が▲50.0、県北地区が▲100.0となっています。



経営上の問題点

売上停滞・減少	34.2%
同業者間の競争激化	16.6%
利幅縮小	7.8%
人手不足	7.0%
店舗・設備狭小・老朽化	5.2%

最重要経営施策

経費節減	23.8%
販路拡大	20.1%
人材確保	8.2%
宣伝・広告強化	8.2%
提携先探す	7.3%

経営者のみなさまの主なコメント

- 新型コロナウイルスの影響で会議等がなくなり、スーツのクリーニングが全くなかったためその分売上が下がった(クリーニング)
- 新型コロナウイルスの影響で売上高が大きく落ち込んでいる。待ちの営業姿勢から弁当販売などの攻めの営業で少しでも多くの売上高が確保できるよう営業活動中(ドライブイン経営)
- 飲食店のフランチャイズ経営を行っているがダブルスルー方式での販売が可能な部門は好調。店舗販売は集客が悪化し売上高は大幅減少となった(飲食チェーン)
- コロナの影響で来店客が激減。特に、例年近隣のイベントホールで開催されていたイベントが中止となったことが大きな要因となった(飲食店)
- 4/13から休業を行い、5月以降売上なし。資金繰りの悪化が著しく資金調達が早期に必要(宿泊業)
- 一般顧客が動きづらい現状では売り上げの確保が困難である。現在は従業員を休ませたりする等の措置を行っている(美容室)
- 県外の顧客が多いため、新型コロナウイルスの影響が大きく、売り上げにも影響している。持続化給付金の申請は受けているため当面は少し余裕が持てる。(整体等)
- 新型コロナウイルスの影響で主要取引先のホテル・旅館等の宿泊施設の売上が大幅に減少している。資金繰りが厳しくなり運転資金の調達を検討している(クリーニング)
- コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発表された4月末から5月末まで休業した(観光施設)
- 2月中旬くらいからキャンセルが発生し、3月4月は営業を自粛した。GW開けても動きはなくコロナ資金を導入。今後の予約もわからない状況(宿泊サービス)

建設業

● 当期(4月～6月)の景況

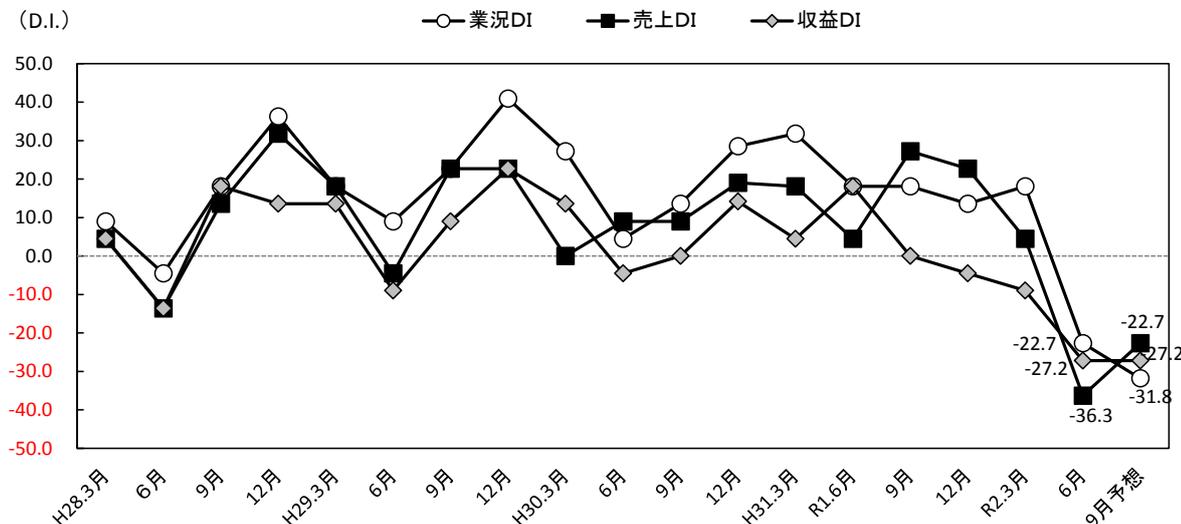
全域における業況DIは▲22.7となり、前期比40.8ポイント下降、前年同期比40.8ポイント下降となっています。売上DIは▲36.3となり、前期比40.8ポイント下降、前年同期比40.8ポイント上昇となっています。収益DIは▲27.2となり、前期比18.2ポイント下降、前年同期比45.3ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が20.0となり、前期比40.0ポイント下降、前年同期比40.0ポイント下降、大分地区が▲22.2となり、前期比33.3ポイント下降、前年同期比44.4ポイント下降、県北地区が▲50.0となり、前期比50.0ポイント下降、前年同期比37.5ポイント下降となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは▲31.8となり、今期比9.1ポイント下降となっています。売上予想DIは▲22.7となり、今期比13.6ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲27.2となり、今期と同水準となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が0.0、大分地区が▲22.2、県北地区が▲62.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	29.1%
売上停滞・減少	14.5%
利幅縮小	12.5%
人手不足	10.4%
材料価格の上昇	8.3%

最重要経営施策

経費節減	25.0%
販路拡大	25.0%
人材確保	22.9%
技術力向上	10.4%
不動産の有効活用	6.2%

経営者のみなさまの主なコメント

- コロナウイルスの影響はそれほど大きくなく、業況はある程度安定している。メインバンク及び政策金融公庫にて調達を行ったため、資金繰りへの不安は現状ない(建築工事業)
- コロナウイルスの影響は出ていない。今後、第2波第3波が来ることが予想されるので業況に注意する(公共事業)
- 新型コロナウイルスの影響は今のところ受けてはいないが今後多少の影響は出るだろう(総合建設業)
- 新型コロナウイルスの影響でトイレや洗面所など中国からの輸入に頼っている材料が不足。現在施工中の改装工事などで遅れが出ている。これ以上、借り入れは増やしたくないが、今後の売上を見て借り入れを行う可能性がある(新築改装工事業)
- コロナウイルスの影響は今後予想される(屋根工事)

不動産業

● 当期(4月～6月)の景況

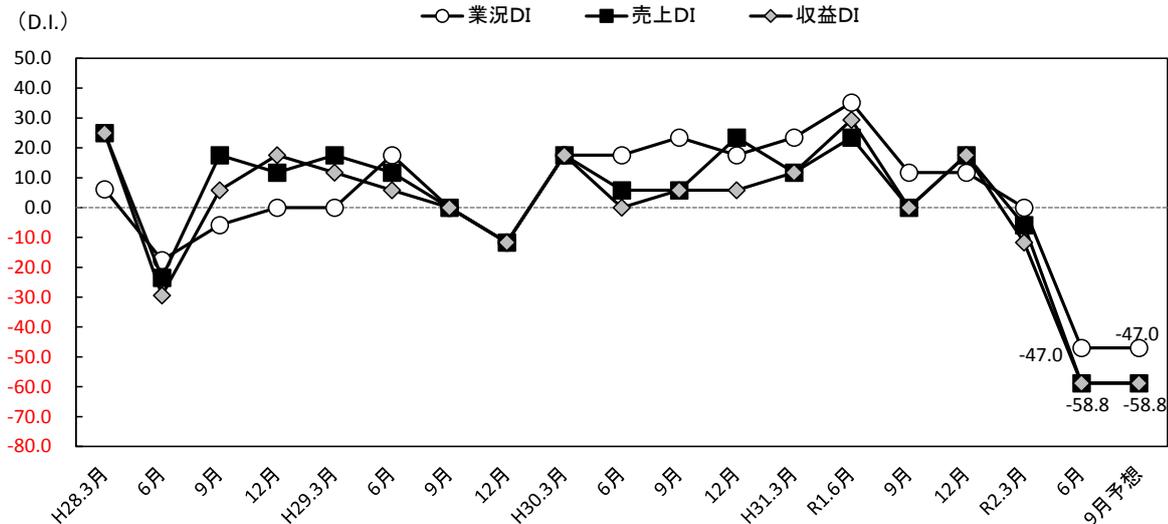
全域における業況DIは▲47.0となり、前期比47.0ポイント下降、前年同期比82.2ポイント下降となっています。売上DIは▲58.8となり、前期比53.0ポイント下降、前年同期比82.3ポイント下降となっています。収益DIは▲58.8となり、前期比47.1ポイント下降、前年同期比88.2ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲28.5となり、前期比28.5ポイント下降、前年同期比85.6ポイント下降、大分地区が▲66.6となり、前期比66.6ポイント下降、前年同期比83.2ポイント下降、県北地区が▲50.0となり、前期比50.0ポイント下降、前年同期比75.0ポイント下降となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは▲47.0となり、今期と同水準となっています。売上予想DIは▲58.8となり、今期と同水準となっています。収益予想DIは▲58.8となり、今期と同水準となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲28.5、大分地区が▲83.3、県北地区が▲25.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	28.5%
利幅縮小	21.4%
売上停滞・減少	14.2%
商品物件不足	10.7%
人手不足	7.1%

最重要経営施策

情報力強化	32.3%
販路拡大	14.7%
宣伝・広告強化	14.7%
経費節減	14.7%
人材確保	5.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- コロナ対策として窓口業務等を自粛し、減収見込み。今後の不動産相場の変化を懸念している。(不動産業)
- コロナウイルスの影響はほとんどない。(不動産賃貸)
- 建売住宅の販売が主業務。コロナウイルスの影響により建材の仕入れが遅れることが心配されたが、特に問題なく推移している。(建売販売)
- コロナウイルスの影響で営業時間を短縮している。3月～4月の引越シーズンの相談も例年より少なかった(不動産仲介)
- 学生用アパート等収益性不動産に対する需要が新型コロナウイルスの影響により減少している(不動産業)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	4月～6月実績	△ 68.1	△ 80.0	△ 73.3	△ 75.0	△ 76.6	△ 22.7	△ 47.0
	7月～9月予想	△ 66.8	△ 77.4	△ 70.0	△ 75.0	△ 73.3	△ 31.8	△ 47.0
売 上	4月～6月実績	△ 70.1	△ 87.0	△ 68.3	△ 66.6	△ 80.0	△ 36.3	△ 58.8
	7月～9月予想	△ 37.4	△ 48.3	△ 33.3	△ 33.3	△ 36.6	△ 22.7	△ 58.8
受 注 残	4月～6月実績	△ 54.7	△ 70.9	***	***	***	△ 31.8	***
	7月～9月予想	△ 35.8	△ 41.9	***	***	***	△ 27.2	***
施工高	4月～6月実績	△ 36.4	***	***	***	***	△ 36.3	***
	7月～9月予想	△ 27.3	***	***	***	***	△ 27.2	***
収 益	4月～6月実績	△ 67.3	△ 83.8	△ 65.0	△ 66.6	△ 78.3	△ 27.2	△ 58.8
	7月～9月予想	△ 36.9	△ 41.9	△ 35.0	△ 33.3	△ 35.0	△ 27.2	△ 58.8
販売価格	4月～6月実績	△ 12.7	△ 12.9	△ 13.5	△ 13.0	△ 10.0	△ 18.1	△ 11.7
	7月～9月予想	△ 12.2	△ 13.3	△ 3.3	0.0	△ 22.2	△ 22.7	△ 17.6
仕入価格	4月～6月実績	4.2	9.6	0.0	0.0	5.0	13.6	0.0
	7月～9月予想	0.0	△ 6.4	1.6	0.0	0.0	0.0	5.8
在庫	4月～6月実績	0.7	12.9	△ 1.6	△ 4.1	***	0.0	△ 5.8
	7月～9月予想	0.7	6.4	5.0	0.0	***	△ 9.0	△ 11.7
資金繰り	4月～6月実績	△ 46.0	△ 51.6	△ 45.7	△ 41.6	△ 63.3	△ 13.6	△ 23.5
	7月～9月予想	△ 34.7	△ 51.6	△ 23.7	△ 25.0	△ 46.6	△ 22.7	△ 29.4
残業時間	4月～6月実績	△ 27.7	△ 41.9	△ 25.0	△ 20.8	△ 37.2	△ 9.0	△ 11.7
	7月～9月予想	3.3	19.3	△ 8.3	4.1	18.6	△ 22.7	△ 5.8
人手状況	4月～6月実績	△ 23.5	△ 35.4	△ 26.6	△ 20.8	△ 27.1	△ 4.5	△ 5.8
	7月～9月予想	△ 2.8	16.1	△ 8.3	0.0	3.3	△ 27.2	△ 11.7

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	4月～6月実績	△ 73.0	△ 86.6	△ 80.7	△ 75.0	△ 85.7	20.0	△ 28.5
	7月～9月予想	△ 73.3	△ 75.0	△ 80.7	△ 62.5	△ 92.8	0.0	△ 28.5
売 上	4月～6月実績	△ 80.0	△ 93.7	△ 88.4	△ 75.0	△ 89.2	0.0	△ 42.8
	7月～9月予想	△ 30.0	△ 37.5	△ 38.4	△ 12.5	△ 32.1	40.0	△ 42.8
受 注 残	4月～6月実績	△ 66.7	△ 81.2	***	***	***	△ 20.0	***
	7月～9月予想	△ 14.3	△ 25.0	***	***	***	20.0	***
施工高	4月～6月実績	△ 40.0	***	***	***	***	△ 40.0	***
	7月～9月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収 益	4月～6月実績	△ 75.6	△ 93.7	△ 76.9	△ 62.5	△ 89.2	0.0	△ 42.8
	7月～9月予想	△ 28.9	△ 31.2	△ 34.6	△ 12.5	△ 32.1	20.0	△ 42.8
販売価格	4月～6月実績	△ 10.0	△ 12.5	△ 19.2	△ 12.5	△ 10.7	20.0	14.2
	7月～9月予想	△ 3.4	△ 6.6	3.8	25.0	△ 17.8	0.0	0.0
仕入価格	4月～6月実績	2.2	6.2	△ 3.8	△ 12.5	3.5	20.0	14.2
	7月～9月予想	4.4	△ 6.2	7.6	25.0	△ 3.5	20.0	14.2
在庫	4月～6月実績	△ 1.6	12.5	△ 19.2	25.0	***	0.0	0.0
	7月～9月予想	4.8	6.2	0.0	25.0	***	0.0	0.0
資金繰り	4月～6月実績	△ 57.8	△ 68.7	△ 57.6	△ 62.5	△ 75.0	0.0	0.0
	7月～9月予想	△ 41.1	△ 68.7	△ 38.4	△ 12.5	△ 53.5	0.0	0.0
残業時間	4月～6月実績	△ 36.7	△ 50.0	△ 34.6	△ 25.0	△ 46.4	0.0	△ 14.2
	7月～9月予想	11.1	18.7	△ 11.5	25.0	32.1	△ 20.0	0.0
人手状況	4月～6月実績	△ 28.9	△ 37.5	△ 26.9	△ 25.0	△ 46.4	40.0	0.0
	7月～9月予想	△ 1.1	12.5	△ 11.5	0.0	14.2	△ 60.0	△ 14.2

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	4月～6月実績	△ 66.7	△ 80.0	△ 73.0	△ 90.0	△ 64.2	△ 22.2	△ 66.6
	7月～9月予想	△ 60.7	△ 80.0	△ 65.3	△ 90.0	△ 50.0	△ 22.2	△ 83.3
売上	4月～6月実績	△ 65.5	△ 100.0	△ 53.8	△ 90.0	△ 67.8	△ 44.4	△ 66.6
	7月～9月予想	△ 35.7	△ 60.0	△ 26.9	△ 50.0	△ 32.1	△ 22.2	△ 66.6
受注残	4月～6月実績	△ 42.9	△ 60.0	***	***	***	△ 33.3	***
	7月～9月予想	△ 35.7	△ 60.0	***	***	***	△ 22.2	***
施工高	4月～6月実績	△ 22.2	***	***	***	***	△ 22.2	***
	7月～9月予想	△ 11.1	***	***	***	***	△ 11.1	***
収益	4月～6月実績	△ 63.1	△ 80.0	△ 57.6	△ 90.0	△ 64.2	△ 33.3	△ 66.6
	7月～9月予想	△ 34.5	△ 40.0	△ 30.7	△ 50.0	△ 28.5	△ 22.2	△ 66.6
販売価格	4月～6月実績	△ 13.3	0.0	△ 8.0	△ 20.0	△ 10.7	△ 33.3	△ 16.6
	7月～9月予想	△ 10.8	0.0	△ 8.0	△ 20.0	△ 3.5	△ 22.2	△ 33.3
仕入価格	4月～6月実績	6.0	20.0	4.0	0.0	7.1	11.1	0.0
	7月～9月予想	0.0	0.0	0.0	△ 10.0	3.5	0.0	0.0
在庫	4月～6月実績	0.0	20.0	12.0	△ 30.0	***	0.0	△ 16.6
	7月～9月予想	△ 3.6	20.0	8.0	△ 30.0	***	0.0	△ 33.3
資金繰り	4月～6月実績	△ 43.4	△ 60.0	△ 40.0	△ 60.0	△ 46.4	△ 22.2	△ 33.3
	7月～9月予想	△ 30.1	△ 60.0	△ 12.0	△ 60.0	△ 32.1	△ 11.1	△ 50.0
残業時間	4月～6月実績	△ 21.7	△ 20.0	△ 19.2	△ 30.0	△ 29.6	0.0	△ 16.6
	7月～9月予想	3.9	0.0	3.8	0.0	11.1	△ 11.1	△ 16.6
人手状況	4月～6月実績	△ 16.9	△ 20.0	△ 23.0	△ 30.0	△ 7.4	△ 11.1	△ 16.6
	7月～9月予想	△ 1.2	0.0	3.8	10.0	△ 3.7	△ 11.1	△ 16.6

県北地区

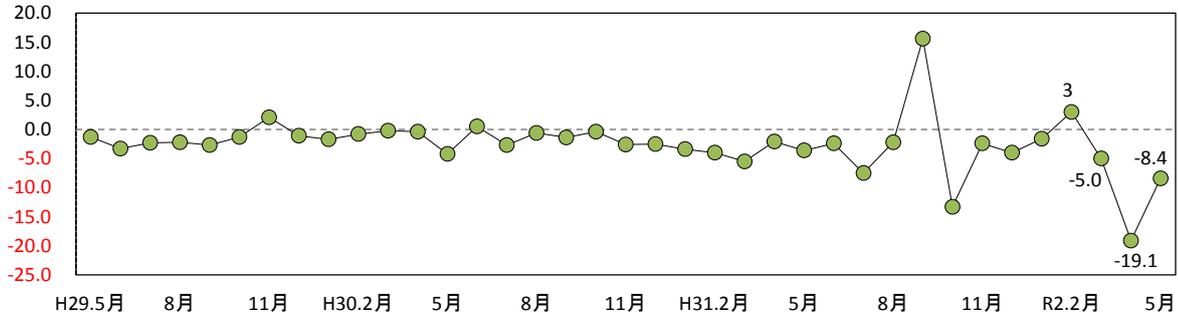
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	4月～6月実績	△ 60.0	△ 70.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 100.0	△ 50.0	△ 50.0
	7月～9月予想	△ 65.0	△ 80.0	△ 50.0	△ 66.6	△ 100.0	△ 62.5	△ 25.0
売上	4月～6月実績	△ 57.5	△ 70.0	△ 50.0	△ 16.6	△ 100.0	△ 50.0	△ 75.0
	7月～9月予想	△ 57.5	△ 60.0	△ 37.5	△ 33.3	△ 100.0	△ 62.5	△ 75.0
受注残	4月～6月実績	△ 50.0	△ 60.0	***	***	***	△ 37.5	***
	7月～9月予想	△ 61.1	△ 60.0	***	***	***	△ 62.5	***
施工高	4月～6月実績	△ 50.0	***	***	***	***	△ 50.0	***
	7月～9月予想	△ 62.5	***	***	***	***	△ 62.5	***
収益	4月～6月実績	△ 57.5	△ 70.0	△ 50.0	△ 33.3	△ 100.0	△ 37.5	△ 75.0
	7月～9月予想	△ 60.0	△ 60.0	△ 50.0	△ 33.3	△ 100.0	△ 62.5	△ 75.0
販売価格	4月～6月実績	△ 15.0	△ 20.0	△ 12.5	16.6	0.0	△ 25.0	△ 50.0
	7月～9月予想	△ 20.0	△ 30.0	△ 12.5	0.0	0.0	△ 37.5	△ 25.0
仕入価格	4月～6月実績	5.0	10.0	0.0	16.6	0.0	12.5	△ 25.0
	7月～9月予想	△ 10.0	△ 10.0	△ 12.5	△ 16.6	0.0	△ 12.5	0.0
在庫	4月～6月実績	5.6	10.0	12.5	0.0	***	0.0	0.0
	7月～9月予想	0.0	0.0	12.5	16.6	***	△ 25.0	0.0
資金繰り	4月～6月実績	△ 25.0	△ 20.0	△ 25.0	16.6	△ 100.0	△ 12.5	△ 50.0
	7月～9月予想	△ 30.0	△ 20.0	△ 12.5	16.6	△ 100.0	△ 50.0	△ 50.0
残業時間	4月～6月実績	△ 20.0	△ 40.0	△ 12.5	0.0	△ 25.0	△ 25.0	0.0
	7月～9月予想	△ 12.5	30.0	△ 37.5	△ 16.6	△ 25.0	△ 37.5	0.0
人手状況	4月～6月実績	△ 25.0	△ 40.0	△ 37.5	0.0	△ 25.0	△ 25.0	0.0
	7月～9月予想	△ 10.0	30.0	△ 37.5	△ 16.6	△ 25.0	△ 25.0	0.0

県内大型小売店販売額

令和2年5月の大型小売店販売額は71億円で、前年同月比8.4ポイント下降となっています。品目別では、衣料品が前年同月比8.4ポイント下降、飲食料品が2.0ポイント上昇、その他の商品が3.3ポイント上昇となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前:経済産業省)

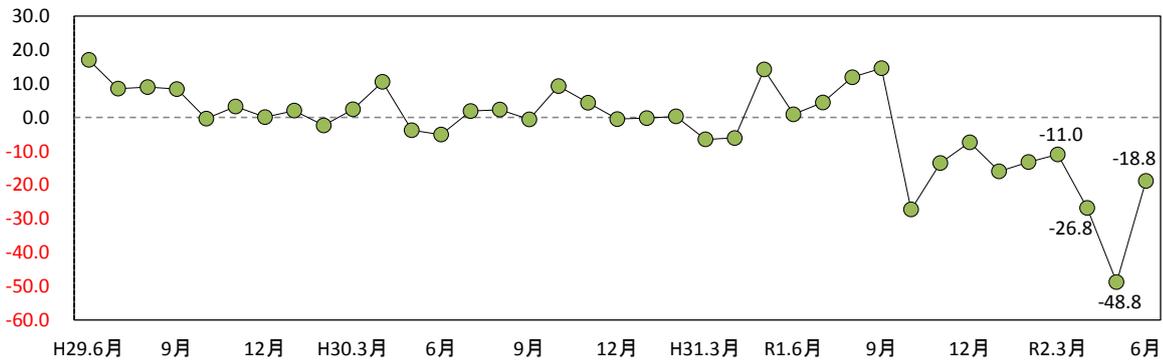


県内新車販売台数

令和2年6月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)3,771台で前年同月を18.8%下回りました。車種別では、普通乗用車が796台で前年同月比30.7%減、小型乗用車が868台で前年同月比19.3%減となりました。また、軽四輪車の合計は1,813台で前年同月比11.3%減となりました。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

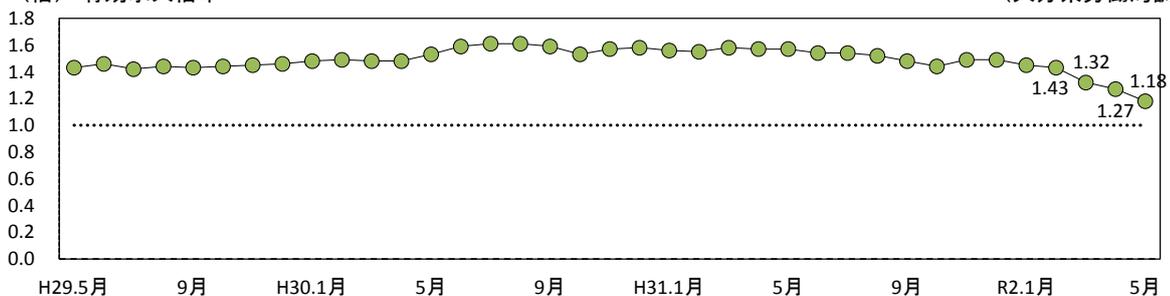


県内有効求人倍率

令和2年5月の有効求人倍率は、前月を0.09ポイント下回る1.18倍となりました。地域別で見ると、大分管内1.33倍(前月比-0.15ポイント)、別府管内0.69倍(前月比-0.14ポイント)、中津管内1.06倍(前月比-0.06ポイント)となっております。

(倍) 有効求人倍率

(大分県労働局調)

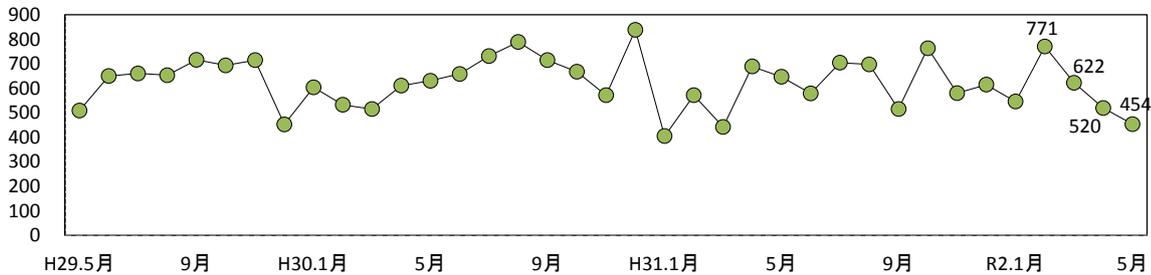


県内新設住宅着工戸数

令和2年5月の住宅着工戸数は454戸でした。そのうち、持家は187戸、貸家は170戸、分譲住宅は94戸となっています。

(戸) 大分県新設住宅着工戸数

(国土交通省調)



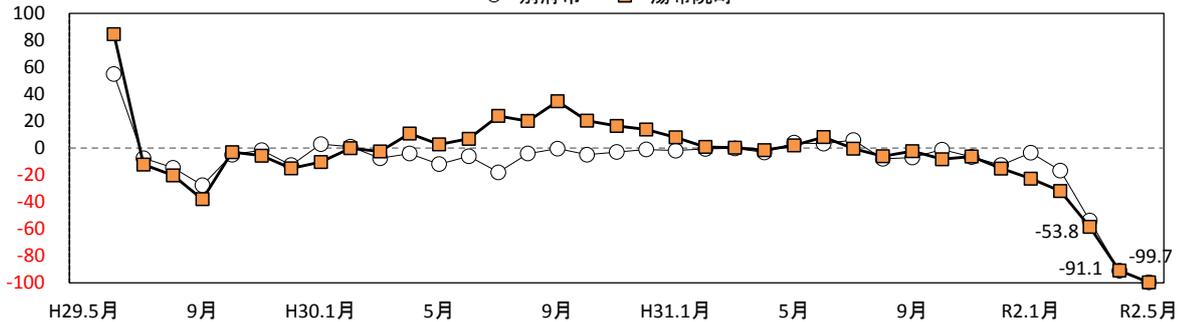
観光動向

令和2年5月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で8.6ポイントの下降、湯布院地区で8.3ポイントの下降となりました。
 ※宿泊人員(前年同月比)の折れ線グラフでは、29年5月のデータを省略しております(28年5月は震災の影響により宿泊人員が大幅に落ち込んだため)。令和2年5月の前年同月比宿泊人員データは、別府地区0.3%、湯布院地区0.3%となっております。

(%) 宿泊人員(前年同月比)

○—別府市 □—湯布院町

(当金庫調)



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、令和2年6月の県内の企業倒産件数は5件で213百万円でした。令和2年の累計は29件2,793百万円となっています。

(百万円) 企業倒産

金額 件数 (東京商工リサーチ大分支店調) (件数)

